



# かさまつの子

笠松町道徳教育連絡会議



## 松波老人保健施設の訪問を通して

私たちの園では、年に数回、子どもたちが松波老人保健施設にいるおじいさんおばあさんを訪問し、交流会を行っています。今年の五月にも年長組の子どもたちがお邪魔をしました。訪問をする前には、園の子どもたちとおじいさんおばあさんにプレゼントする首飾りを作ったり、お歌の練習をしたりしました。「どんな物が喜んでもらえるだろう、どんな歌なら一緒に歌ってもらえるだろう」とおじいさんおばあさんたちのことをみんなで話し合いました。そして、「おじいさんおばあさんたちの中には、なかなかみんなのような小さい子に会えなくて寂しい人もいるかもしれないね」

とお話すると、「みんなのモリモリ元氣パワーをおじいさんおばあさんたちに分けに行こう」ということになりました。子どもたちも、自分たちがおじいさんおばあさんに元氣を分けてくれるんだという使命感のようなものを持ったようで、とても張り切って訪問の日を待ちわびていました。

訪問当日、老人保健施設に通され、たくさんのおじいさんおばあさんたちを目の当たりにするとちよっぴり緊張して体が固まっていた子もいました。しかし、集まっていたいただいたおじいさんおばあさんたちの子どもの見つめる温かい目や笑顔に触れると、子どもたちも少しずついつもの調子を取り戻していきまし

ました。前回の訪問では慣れないためか、おじいさんおばあさんとなかなか触れ合えず、握手をするのもビクビクしている子どももいましたが、今回は二回目ということもあり、みんな優しくおじいさん

おばあさんに接していました。何か体で感じるのか、不思議とおじいさんおばあさんに優しく接していた子どもたち。そして、そんな子どもたちを見て思わず涙ぐむおばあさんがいたり、手を握ったまま一生懸命子どもにお話をするおじいさんがいたり。それだけでも、きつと子どもたちの中に何か感じるものがあつたのではないかと思います。そして、子どもたちの姿を細めて優しく見守っていたおじいさんおばあさんたちにも……

お歌のプレゼントとちよっぴとしたゲームをした後、お昼ご飯を一緒に食べました。苦手な物を残す子どもにも、「これにはこういう栄養があつて昔からこんないい伝えがあるんだよ」など、おじいさんおばあさんならではの知識を教えてくださいました。「よく食べたね」と優しく褒めてくださるかたなどいろいろみえました。

交流会自体は、ほんの短い時間ではありましたが、これからこのような機会を通して、お互い言葉で伝えたり、何かを体で感じとったりしていけたらな、と思います。そして、このような会を設けてくださる松波老人保健施設の皆さんにも感謝したいと思います。

笠松双葉幼稚園  
教諭 遠藤 恵美



### 教育委員会だより

教育電話相談

悩んだら気楽に  
電話してください  
郡四町教育委員会  
245・1133

## どきどき・いきいき・しっとり

学校では「どきどき・いきいき・しっとり」がとても大切なこと、かつてお世話になった先輩教師に教えていただいたことがあります。私も実践の中で子どもたちの成長にとって、このことが大変重要だと実感しました。それは、次のようなことからです。

運動会のスタート。係り決めの投票のとき。初めて全校の前で話すとき。劇や合唱などの発表。毎日の授業での発表でもどきどきする人がいるかもしれません。

何か行動を起こしたとき、どきどきします。それが強かったときほど乗り越えたときの感動や達成感は大きくなります。うまくいかなかったときでも悔しさや挑戦した満足感が残ります。こつこつた「どきどき」が子どもを成長させるからです。

自分で目標を持ち、方法を工夫し、ねばり強く挑戦している子どもの姿はいきいきしています。

やる気になった時、子どもたちは思いもかけない力を発揮したり、素晴らしい成長を見せま

「どきどき・いきいき・しっとり」を、家庭や地域の行事の中などでも、是非多くの子どもたちに味わわせてあげてください。